

東京発

宇宙への旅

5

マンションの一室 通信回路開発



開発対象は多岐にわたります。本の修理中の事故を避けたため、林業従事者同士が互いに近づきすぎると

宇宙に関わる仕事が夢

だったが、当時の日本に

はまだ宇宙産業は育つ

ていなかった。アマチュ

ア無線が趣味で、高校時

代に無線機を作り、大学

もともと宇宙少年だっ

た。小学4年の時、祖父

に連れられて見た映画

が「タイトルは忘れたが

宇宙探査もの。以来、宇

宙に非常に興味を持つ

年で独立し、今会社を

ようになりました」。ボ

トル紙を丸め、虫眼鏡の

レンズで手製の天体望

遠鏡を作った。「大学に

入り、家庭教師のアル

バイトでやつと望遠鏡を

買った時はうれしかっ

た」

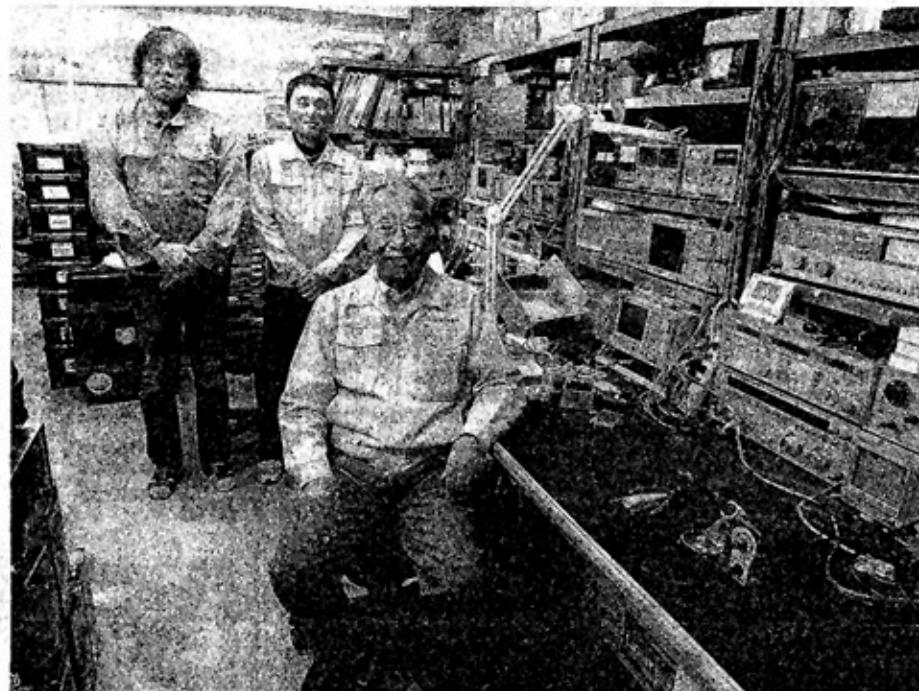
都心のマンションの一室で、宇宙開発の要となる電子回路の開発から設計、製造まで行っていたと聞いて信じられる人はどれだけいるだろう。ファースト電子開発（本社・北区上十条）の板橋区清水町の事業所はまさにそれだ。社員4人。社長の伊藤義雄さん（73）は、日本の無線技術の第一人者の一人だ。

【近藤浩之】

小学生時の夢かなう

1月8日(月)
2015年(平成27年)発行所：東京都千代田区一ツ橋1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社

伊藤社長「基礎が大事」



伊藤社長（右）、左は元社員の高橋さん、奥は元社員の山口さん

2009年1月の打ち上げを前に公開された
4基の公募小型人工衛星。手前中央が「かがやき」号

マンションの一室に所属して構築が並ぶ。手前が伊藤さん。外出中のその後、東大阪の中小

企業が作った「まいど1号」など、09年1月に打ち上げられた公募小型衛星。

星6基のうちの1基「かがやき」でも、通信システムは考案した未、通信に短波帯を採用した。「地上

と衛星との間の通信には通常、大気上層の電離層を通り抜けるUHFやVHF、マイクロ波を使う。

電波を熟知した伊藤さんは考案した未、通信システムは海外メーカーにOEM供給し、世界

シエア7割に及ぶ。さまざまな競争の五輪予選で世界標準といふ。

星6基のうちの1基「かがやき」でも、通信システムは考案した未、通信に短波帯を採用した。「地上

と衛星との間の通信には通常、大気上層の電離層を通り抜けるUHFやVHF、マイクロ波を使う。

電波を熟知した伊藤さんは考案した未、通信システムは考案した未、通信に短波帯を採用した。「地上

と衛星との間の通信には通常、大気上層の電離層を通り抜けるUHFやVHF、マイクロ波を使う。

電波を熟知した伊藤さんは考案した未、通信システムは考案した未、通信に短波帯を採用した。「地上